

ケンコーコム株式会社

AWSのクラウド環境上にSAP ERPを導入、ECビジネスの成長を支援

健康食品や医薬品などのECサイトを運営するケンコーコム株式会社。同社は、ECビジネスの成長を支えるシステム基盤の強化を目指し、NTTデータ グローバルソリューションズの協力を得て、「アマゾン ウェブ サービス」(AWS)のクラウド環境上にSAP ERPを導入しました。AWSの利用により、初期コスト・運用コストの合計は、社内での運用と比較して約65%の削減を実現。また、データのリアルタイム化により、業務効率も大幅に向上しました。



取締役
IT本部長
新井 達也 氏



ERP推進室長
笹葉 謙 氏

ビジネスのさらなる成長を目指し 肥大化したシステムを一新

国内最大級のECサイト「ケンコーコム」を運営するケンコーコム。健康食品や医薬品など、19万点におよぶ膨大な商品を扱う同社は、ロングテールのビジネスモデルを武器に成長を続けています。商品数の増加と比例するかのようにより、顧客数も増加。売上高も伸長し、2011年度決算では過去最高の売上高を記録しました。

一方、商品数と顧客数が増加するにつれて、業務を支えるシステムの肥大化が進んでいきます。同社はこれまで、会計、購買、販売在庫、販売管理などのシステムを個別に運用管理してきました。しかし、システムが増えるとともにデータ連携時の不整合が生じたり、メンテナンスにかかる負荷が増大したりと、業務にさまざまな悪影響が出るようになります。取締役でIT本部長の新井達也氏は「システムがビジネスの成長の“足かせ”にならないためにも、早急な改善が必要でした」と振り返ります。

そこでケンコーコムは、業務の効率化とシステムの安定化に向けて、ERPパッケージSAP ERPの導入を決定。そしてシステムをアマゾンが提供するクラウドサービス「アマゾン ウェブ サービス」(AWS)上に構築することを決断します。AWS上へのSAP ERP導入は、本番環境における商用利用としては日本で初めてのケースでした。「当社はもともとクラウドの利用に積極的で、数年前から商品画像の保存にAWSを利用してきました。

2011年7月にはECサイトや在庫管理システムなどをAWSに移行しており、ある意味、SAP ERPをAWS上に構築することは自然の流れでした。また、東日本大震災の発生を受けて、BCPの観点も加わり、より早期の導入を目指すことになりました。」(新井氏)

開発に対する柔軟な姿勢 中堅企業やECへの実績を評価

SAP ERPの導入を決定したケンコーコムは、開発パートナーとして、複数の企業の中からNTTデータグローバルソリューションズを指名します。その理由を新井氏は「柔軟な開発姿勢にあった」とし、次のように説明しました。

「スピードを最優先と考える当社の場合、システムの開発にも柔軟さが必要となります。その点、NTTデータグローバルソリューションズは、開発に対する柔軟性と機敏性を重視したプロジェクト管理体制が、当社の要望にマッチしていました。また、将来、弊社の共通基盤となるシステム(EAIや監視ツールなど)の提案まで盛り込まれていた点は高く評価できました。中堅企業やECへの実績と経験が豊富なことに加え、システム構築の技術力も高く、パートナーとして最適と判断しました」

また、開発をスムーズに進めるためには、PMも重要なポイントとなりますが、その点についても、NTTデータグローバルソリューションズは眼鏡にかかっていました。「プレゼンの内容から、NTTデータグローバルソリューションズのPMは経験に裏打ちされたノウハウ



会社概要

ケンコーコム株式会社

設立	: 1994年11月
資本金	: 20億2268万円(2012年6月19日現在)
売上高	: 171億6777万円(2012年3月期 連結)
従業員数	: 286名(2012年3月31日現在 連結ベース)
本社所在地	: 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビルディング
URL	: http://www.kenko.com/
事業内容	: 健康関連商品のEコマース



会社紹介

1994年設立。2000年から健康メカショップ「ケンコーコム」を運営しています。取扱商品数は、健康食品から医薬品、化粧品、介護用品、日用品、家電、スポーツ用品まで、19万点以上(2012年10月現在)。自社サイトのほか、モバイルやスマートフォンからの注文にも対応し、さらに、楽天市場やYahoo!ショッピングなど複数のショッピングサイトに出店。販売チャネルを拡大しています。2012年にはECビジネスの国内最大手、楽天株式会社と資本業務提携しました。海外市場にも目を向け、2009年にはシンガポールに子会社を設立。2012年には中国に合弁会社を立ち上げるなど、ECビジネスのグローバル化を進めています。

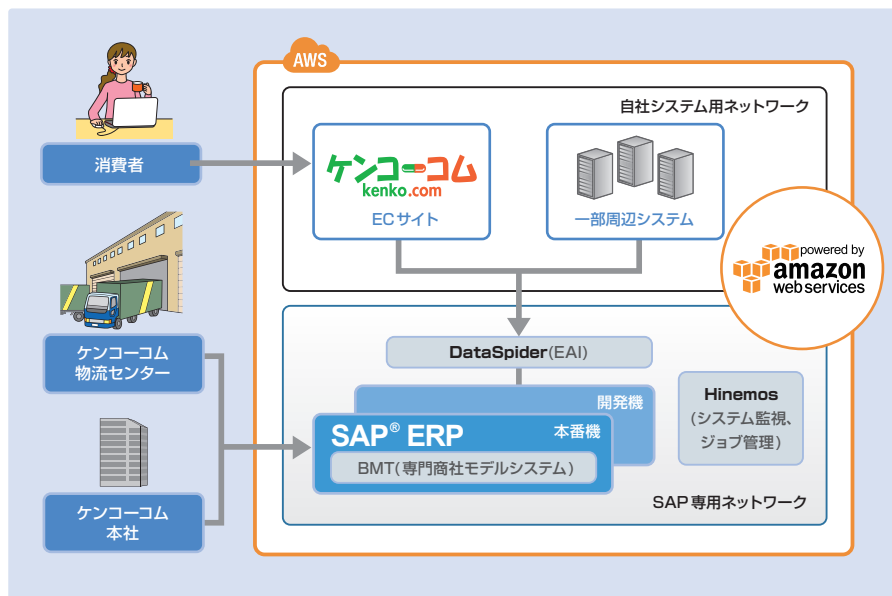


導入ポイント

- ◆ アマゾン ウェブ サービスの活用による初期コスト・運用コストの削減
- ◆ 「専門商社向けモデルシステム」と「DataSpider」を用いたシステム連携
- ◆ スピード重視の企業方針にマッチした導入パートナーの選定

があるとともに、我々とも波長が合うだろうなと感じました」(新井氏)

SAP ERPの導入については、卸売・商社の業務に必要な機能やノウハウをまとめたテンプレート「専門商社向けモデルシステム(BMT)」を採用し、会計と購買(発注)の2つのモジュールを導入しました。このテンプレートを活用する上で、ポイントとなったのがシステム間の連携です。ケンコーコムの場合、SAP ERPと連携するシステムが多いため、インターフェースを個々に開発すると多大な工数がかかります。「NTTデータ グローバルソリューションズの提案は、テンプレートとデータ連携ソリューション(DataSpider)を用いてノンプログラミングで連携するというもので、これによりアドオンの削減が実現し、開発をスムーズに進めることができました。また、併せてジョブの監視とスケジューリングの機能が組み込まれた監視ツールも導入しています」(新井氏)



導入にもリソースを柔軟に活用 セキュリティ面も万全なAWS

導入プロジェクトは2011年10月にキックオフ。2012年8月に本稼働がスタートしました。そのうちシステム環境構築に要した期間はわずか2週間と、オンプレミスと比較して大幅な時間短縮を実現しています。各段階では、必要な環境をいつでも自由に追加できるAWSの特長を最大限に活用。たとえばテストフェーズでは、開発環境と別のテスト環境を新たに構築し、効率的にテストを行いました。さらに、システムへ大きな負荷がかかるデータ移行時は、本番環境のインスタンスサイズを一時的に倍増。処理能力を高めることで移行時間を短縮し、システム停止による業務への影響を最小限に抑えました。

さて、企業の基幹システムをクラウド上に置くことについて、セキュリティ面で不安を抱く方も少なくありません。その点について新井氏は次のように説明します。

「数年前からさまざまな業務システムをAWSに移行してきたこともあり、セキュリティに関する不安はありませんでした。むしろ、自社で複雑なセキュリティ環境を用意せずに済むこと、顧客からの高度な要求に 대응しているAWS上に置くことでセキュリティのリスクを感じなくて済むことは大きなメリットです」

AWSでは、ユーザ専用のプライベートゾーンが用意され、SAP ERPはこの専用仮想空間の中で運用されるため、他のユーザの影響を受けることはありません。さらにISMS*1やPCI DSS*2の認定など、高度なセキュリティ要件も満たしているため、安心して利用できるといいます。

初期コスト・運用コストの 大幅削減と人的リソースの 有効活用を実現

AWSの採用は、SAP ERPの導入にさまざまな効果をもたらしています。耐障害性が高く、拡張性に富んだシステムが短期間で構築できたことはもちろん、ハードウェアの保守を社内で行う必要がなくなったため、IT部門の負荷を大幅に減らすことができました。「初期導入費と5年間の運用費の合計金額は、オンプレミスと比べて約65%減です」と新井氏。

また、複数のシステムをSAP ERPに集約した結果、システムの運用作業や障害対応が軽減されました。この空いたリソースを、データの精度向上や新機能の追加など、別の業務に向けられるようになったことも大きな成果です。システムのパフォーマンス面にも不安はなく、ユーザはAWS上で稼働していることを意識することなく利用しているといえます。

一方、業務面では、SAP ERPによって会計情報、発注情報の一元管理が実現。これまで正確な数字を把握するまで時間がかかっていたデータをリアルタイムで見られるようになりました。ERP推進室長の笹葉謙氏は、その効果について次のように語ります。

「出荷に対する売上原価が迅速・正確に把握できるようになりました。これまで日次の会計処理は、従来の環境では翌日の夕方まで把握できませんでした。今では翌日の朝の段階で確認できるようになっています。加えて内部統制と監査レベルの強化が実現しました」

コアシステムを強化して SAP ERPと連携し 全システムをクラウドに移行

ケンコーコムでは、AWS上にSAP ERPを構築した今回のプロジェクトを第1ステップと捉えており、今後はSAP ERPを核にシステムのさらなる強化を図っていく考えです。

「第2ステップでは、ビジネスのコアである販売管理と倉庫管理のシステムを全面的に刷新し、SAP ERPとの間でタイムリーなデータ連携を実現させます。また、その他の既存システムもリプレースのタイミングでAWS上へ移行を検討し、更なるコストダウンを実現します」(新井氏)

最後に、NTTデータ グローバルソリューションズに対する期待について、新井氏は次のように述べています。

「今回のプロジェクトでは、AWSの採用により理想的なシステムが構築できました。とはいえ、SAP ERPとAWSの組み合わせはまだ始まったばかりで、まだまだ改善の余地が残されています。今後もさまざまなことにトライしながら、さらなる効率化を目指していきますので、ご協力をお願いします」

NTTデータ グローバルソリューションズは、これからもAWS上におけるSAP ERPの導入・運用技術を高め、ノウハウを蓄積しながら、ケンコーコムをはじめとした多くの企業の要望に応じていく所存です。

株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ

E-mail infoevent@nttdata-gsl.co.jp URL <https://www.nttdata-gsl.co.jp/>

【東京ヘッドオフィス】 〒104-0045 東京都中央区築地5-6-4 浜離宮三井ビルディング 4F
【西日本オフィス】 〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町4-1-2 御堂筋ダイビル 7F

※SAP及びその他のSAPの製品やサービスは、ドイツ及びその他の国におけるSAP SE(またはSAPの関連会社)の商標もしくは登録商標です。
※その他記載されている、会社名、製品名、ロゴなどは、各社の登録商標または、商標です。
※本リーフレットに掲載されているロゴ、文章、写真その他のイラストを無断で転載、複製、再利用を禁止します。
※記載されている企業名および担当者の情報は取材当時のものです。

Facebook 公開中!



「いいね!」して下さい!



<https://www.facebook.com/nttdatagsl>